

◎教育長(山本隆生君) 藤崎台県営野球場にあります7本のクスノキ群は、国指定の天然記念物でありまして、森の都熊本の象徴とも言える存在で、保存のために金網のさくで囲み、管理をしてきたところでございます。

近年、このクスノキ群を積極的に周知し活用したいという機運が地元で高まってまいりました。このような中、昨年1本のクスノキにおいて、高温乾燥の気象状況による水分不足やかたい土壌による呼吸障害等で枝枯れが発生いたしました。このため、3月中と冬期に必要な処置を施し、樹勢回復を図りますとともに、その他の木についても、引き続き注意深く観察してまいります。

一帯の整備につきましては、地元の御意見を踏まえまして、クスノキ群をできるだけ公開し活用に努めることを目的として、昨年、1本のクスノキのさくを撤去し、かわりに地元の方々と協力して植栽を行ったところです。

今後は、樹木への影響を見た上で、文化庁とも協議を行い、順次金網から生け垣による管理へと切り替え、地元の方々と連携して景観の向上に努め、適切な保存と活用を図りたいと考えております。

また、この一帯は観光資源としての価値も高く、観光ボランティアガイドによる町歩きのコースに組み込まれるなどの取り組みも始まっております。

県では、来訪者用の駐車スペースを確保し、モニュメントや説明板等を設置しますとともに、熊本市や関係機関等とも連携し、クスノキ群のすばらしさを県民あるいは観光客にアピールしてまいりたいと考えております。

〔瀧上陽一君登壇〕